



The Japanese School in Perth
パース日本人学校

Southern Cross



2024 No.3

5月31日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiwase@jsp.wa.edu.au

「子どもたちの主体性を引き出す」

校長 寺本 喜和

先日は、日曜参観・学校説明会・PTA総会・親子レクへのご参加ありがとうございました。子どもたちは、保護者の皆様に参加していただいた授業や行事を大いに楽しんでいました。上級生になると「見に来ないで。」等と、つれないことを言うこともあるかもしれませんが、内心は見てもらえること、気にかけてもらえることを喜んでいるのです。ですから、このような機会があるときはできる限り見に来ていただきたいと思います。

さて、今日は少し硬い話になりますが、本校で掲げている「主体性を伸ばす」ということについて書かせていただきます。

ことわざに「馬を水辺に連れていくことはできても、水を飲ませることはできない。」というものがあります。このことわざは「馬を水のところに連れていっても、その馬が水を飲みたくなければ、飲ませることはできない。」ということ为例にして、人の意志や気持ちを無理に変えることはできないということを教えています。

JSPでは、この精神を大切にして、今年全ての教育活動を進めています。例えば、4年生の理科の授業では、「最強（速い）の自動車を作るにはどうしたらいいのか」という課題を設定して電流の働きの学習を進めます。授業は必ず児童の「問い」からスタートします。目の前に電池やモーターがあっても、何も問いがないと、学習が深まりません。つまり、馬が水辺に行っただけということになります。けれども「最強の自動車を作る」という目的ができると、馬が「水を飲みたい」と思うことと同じ状態になります。すなわち「もっと知りたい」「もっと調べてみよう」となり、そこに学習への主体性が生まれてきます。

主体性は教科の学習にとどまりません。現在、6月7日（金）に開催される日本文化発信の行事、「KONNICHIIWA」の開催に向けて、中学生の生徒会諸君が中心となって準備を進めています。今年は、昨年度と大いに違った取り組みが展開されています。昨年度のオープンナイトで取り組んだ日本文化発信の目的を継続しながらも、今年は、JSPの低学年や保護者だけでなく、シィービーチ小の皆さんにも「もっと参加してもらえるような行事にしよう」という目的が追加されました。そこで、日程や時間を工夫し参加してもらいやすいようにしたり、行事自体の呼び名を「KONNICHIIWA」にしたりして親しみやすいように工夫するアイデアを採用したそうです。現在、生徒会の生徒たちが「元気いっぱい 楽しみいっぱい 日本の遊びと文化を通し 世界のかげ橋になろう！」というスローガンを、教室の廊下に大きく掲げてくれたのも、JSPのみんなにこの行事の目的を知らしめて、みんなの心をひとつにして進んでいこうとする「主体性」に他なりません。

これからも「主体性」を大切にした教育活動の取り組みを進めていきます。

クラブ活動 スタート!

6日の5時間目の時間に、3年生から6年生までが集まり、本年度のクラブ活動の内容について話し合いました。6回ある活動内容は、体を動かすものがあったり、作るものがあったりと、みんなが楽しめるようにと、意見を出し合って決めていきました。一人ひとりに役割があり、責任を持つことで人とよりよく関わる態度を養っていきます。



日曜参観&親子レク♪

19日(日)は本年度初めての授業参観がありました。1つ学年が上がり、成長した姿を見ていただけたのではないかと思います。また、親子レクへの参加もありがとうございました。子どもたちみんなと保護者の皆様が一つになって活動できることはJSPの良さの一つであると感じます。今後も保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を支えていけたらと思います。

Book Fair ~The Speedy Sloth~

21~23日の3日間、全豪で一斉に読み聞かせを行うタイミングで、CityBeach小学校のBookFairに参加してきました。昨年度も参加しましたが、パジャマや青い服を着ていつもとは違った雰囲気を楽しんできました♪

